

大槌町 議会報

第 127 号

2012 年 6 月 5 日発行

発行 上閉伊郡大槌町議会

編集 議会報編集特別委員会

☎ 028-1192 大槌町上町 1 番 3 号

TEL (0193) 42-2111

FAX (0193) 42-3855



4 月 30 日に大槌町浄化センター敷地内で開催された「千年の杜づくり」植樹会

平成 23 年

◆ 第 9 回 臨時 会

平成 24 年

◆ 第 1 回 定例 会

◆ 第 1 回 臨時 会

◆ 第 2 回 臨時 会

◆ 第 3 回 臨時 会

◆ 第 4 回 臨時 会

紙面内容

■ 審議された議案・議会の動き・・・②～③

■ 一般質問の内容・・・④～⑦

■ 予算特別委員会の内容・・・⑧～⑨

■ 組合議会報告・・・⑩

第1回定例会

一般質問に4議員が登壇

平成24年第1回定例会は3月8日から23日までの16日間の会期で開催されました。今期定例会には、平成23年度の各会計補正予算や平成24年度当初予算など議案29件、選挙1件、発議案2件が提案されました。また、一般質問には4議員が登壇し、町当局の姿勢や施策をただしました。

◆議案―*

- ◎大槌町教育委員会の委員の任命に関し議会の同意を求めること：伊藤正治氏を再任することに同意を求めたものです。(全員賛成・原案同意)
- ◎大槌町東日本大震災復興交付金基金条例の制定：復興交付金事業等の財源に充てるため、新たに基金を設置するものです。(全員賛成・原案可決)
- ◎大槌町特別会計条例の一部を改正する条例：学校給食特別会計を廃止し、一般会計に組み込まれるものです。(全員賛成・原案可決)
- ◎大槌町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例：消防活動に対する出動手当を引き上げるものです。(全員賛成・原案可決)
- ◎大槌町介護保険条例の一部を改正する条例：介護保険事業計画の見直しにより保険料を変更するものです。(全員賛成・原案可決)
- ◎大槌町公民館条例の一部を改正する条例(全員賛成・原案可決)
- ◎大槌町立図書館設置条例の一部を改正する条例(全員賛成・原案可決)
- ◎財産の取得：応急仮設庁舎50棟(全員賛成・原案可決)
- ◎工事請負契約の締結：大槌町役場仮庁舎改築(建設)工事(全員賛成・原案可決)
- ◎工事請負契約の締結：大槌町役場仮庁舎改築(電気)工事(全員賛成・原案可決)
- ◎工事請負契約の締結：大槌町役場仮庁舎改築(機械設備)工事(全員賛成・原案可決)
- ◎平成23年度大槌町公共下水道根幹的施設の災害復旧事業に係る建設工事委託に関する協定の一部を変更する協定の締結(全員賛成・原案可決)
- ◎平成23年度大槌町公共下水道根幹的施設の災害復旧事業に係る建設工事委託に関する協定その2の一部を変更する協定の締結(全員賛成・原案可決)
- ◎平成23年度大槌町一般会計補正予算(第9号)を定めること：水産業復興支援事業補助金、消防団員等公務災害賞、じゅつ金等の追加、瓦礫等の災害廃棄物処理事業費、下水道事業に係る災害復旧費の減額に伴う補正です。(全員賛成・原案可決)
- ◎平成23年度大槌町一般健康保険特別会計補正予算(第2号)を定めること：一般被保険者療養給付費等の増額による補正です。
- ◎平成23年度大槌町下水道事業特別会計補正予算(第3号)を定めること：下水道施設災害復旧事業の翌年度施工による減額等の補正です。(全員賛成・原案可決)
- ◎平成23年度大槌町漁業集落排水処理事業特別会計補正予算(第3号)を定めること：漁業集落排水処理事業施設災害復旧事業の翌年度施工による減額等の補正です。(全員賛成・原案可決)
- ◎平成23年度大槌町介護保険特別会計補正予算(第3号)を定めること：介護保険システム改修費等の補正です。(全員賛成・原案可決)
- ◎平成23年度大槌町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)を定めること：保険料の減免等による後期高齢者医療広域連合給付金の減額による

議会の動き

- 2日 第4回定例会(12月)
- 6日 議会運営委員会(12日)
- 8日 決算特別委員会(12日)
- 16日 全員協議会
- 20日 議会運営委員会
- 26日 第9回臨時議会
- 11日 議会運営委員会(1月)
- 13日 知事を囲む懇談会
- 17日 第1回臨時議会
- 19日 総務教民常任委員会協議会
- 24日 総務教民常任委員会協議会
- 27日 政務調査会
- 9日 岩手沿岸南部広域環境組合定例会(2月)

る補正です。
(全員賛成・原案可決)

◎平成23年度大槌町水道事業会計補正予算(第3号)を定めること
(全員賛成・原案可決)

◎大槌町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙
(全員賛成・原案可決)

◎JR山田線宮古・釜石間の鉄路による早期復旧を求める意見書(案)の提出
(全員賛成・原案可決)

◎医療従事者の増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める意見書(案)の提出
(全員賛成・原案可決)

◇報告—*

◎損害賠償額の専決処分
の報告：釜石市栗林町で発生した強風による車両のドアの接触事故による

る損害賠償です。賠償額は4万719円です。

◎損害賠償額の専決処分の報告：中央公民館前駐車場で強風により発生した一般車両への物損事故による損害賠償です。賠償額は12万8237円です。

◇臨時会—*

第9回臨時会

平成23年第9回臨時会は、12月26日に開会されました。

◎大槌町東日本大震災津波復興計画基本計画を策定すること：東日本大震災津波によって甚大な被害を受けた大槌町において、被害状況、影響、課題を把握し、1日も早く復興を成し遂げるため、復興の基本的な方向性に関する計画を定めるもの
(全員賛成・原案可決)

第1回臨時会

平成24年第1回臨時会は、1月17日に開会されました。

◎工事請負契約の締結
：沢山地区がれき集積場整備工事のがれき処理方法の確定に伴い減額変更するものです。
(全員賛成・原案可決)

◎大槌町公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する基本協定の一部を変更する協定の締結：東日本大震災津波により、大槌浄化センター建設工事現場を含む広範囲に甚大な被害を受け、既存の下水道計画による事業継続が困難なことから、協定の一部を変更し工事を中止するものです。
(全員賛成・原案可決)

◎平成23年度大槌町一般会計補正予算(第6号)を定めること：東日本大震災津波復興基金市町村交付金の交付に伴う歳入、仮設庁舎財産取得に伴う予算措置等の補正で

す。
(全員賛成・原案可決)

第2回臨時会

平成24年第2回臨時会は、2月13日に開会されました。

◎平成23年度大槌町一般会計補正予算(第7号)を定めること：仮庁舎とする大槌小学校改築等に係る予算措置等の補正です。
(全員賛成・原案可決)

第3回臨時会

平成24年第3回臨時会は、2月28日に開会されました。

◎損害賠償額の決定及び和解について：小鎚で発生した一般車両への物損事故による損害賠償です。賠償額は5万8054円です。
(全員賛成・原案可決)

◎損害賠償額の決定及び和解について：小鎚で

発生した一般車両への物損事故による損害賠償です。賠償額は35万8617円です。
(全員賛成・原案可決)

◎平成23年度大槌町一般会計補正予算(第8号)を定めること：防災集団移転促進事業及び都市再生区画整理事業計画案作成並びに災害公営住宅整備に係る業務委託に関する予算措置等の補正です。
(全員賛成・原案可決)

第4回臨時会

平成24年第4回臨時会は、3月29日に開会されました。

◎平成23年度大槌町一般会計補正予算(第10号)を定めること：町税・使用料、保育料等の減免や災害弔慰金に係る震災復興特別交付税及び震災復興事業に係る東日本大震災復興交付金等による補正です。
(全員賛成・原案可決)

◎損害賠償額の決定及び和解について：小鎚で

13日	第2回臨時会 全員協議会
16日	岩手県後期高齢者医療広域連合定例会
17日	岩手県町村議会議長会定期総会
20日	産業建設常任委員会協議会
22日	全員協議会 総務教民常任委員会協議会
23日	議会運営委員会 釜石大槌地区行政事務組合定例会
24日	岩手県町村監査委員定期総会
28日	第3回臨時会 総務教民常任委員会協議会
(3月)	
2日	議会運営委員会 全員協議会
8日	第1回定例会 (23日)
14日	議会運営委員会 全員協議会
15日	全員協議会
19日	予算特別委員会 (23日)
22日	全員協議会
29日	第4回臨時会



東梅 守 議員

学童クラブの利用状況は

2月時点で33名

【問】学童クラブの利用状況について、現在の利用児童数、利用している学年は。

【答】（門脇民生部長）

震災の影響により、年度当初から事業を休止していた。7月後半～8月の期間に中央公民館で一時的に再開。その後公益社団法人サーブザワールドレンジャパンの支援により、11月4日本格的に事業を再開。利用者数に關しては2月時点で33名。小学校1年生が12名、2年生が11名、3年生が8名、4年生が2名。

【問】学童クラブの利用状況について、現在下校後の居場所（遊び場、活動する場）がなく、学童クラブの重要性があるのではないかと、幅広く活用できる方法を検討しているか。

【答】（門脇民生部長）

学童クラブの対象は本来10歳未満であるが、事情によって5、6年生にも対応していきたい。【問】町営球場の今後について、復興計画案には、住宅地として使用するようであるが、時期はいつ頃か。

【問】空いている場所に住宅地、というのは分かるが、町内で野外活動できる場所が限られていることを考えると、スポーツでストレス等を発散できる場がない。早急に対策を立てる必要があることから、できれば町営球場を再整備して、新しい施設環境が整うまでは現状のまま利用を継続させてほしい。早急に整備できるように働きかけてみては。

【答】（伊藤教育長）

復興計画との兼ね合いを考えると、もし施設が住宅地にならなければ、そのまま施設として残るので施設として活用できればと考えている。また、できるだけ早急に活動できるように整備していきたい。

【問】被災した大槌北小学校について。町にボランティアの宿泊施設としての要望書が出されていると聞いたが、町としての考えは。

【答】（菊池復興局長）

校舎の2階は津波による浸水は免れたものの、1階は浸水により設備の破損等により使用できない。要望書の趣旨については重々承知しているが、宿泊施設とするためには電気・水道設備の改修、

建築基準法や消防法などに適合するよう施設の改修を行う必要がある。また、小中学校の体育施設用地としての活用、復興計画での位置づけ等、慎重に取り扱いをしていく。

【問】ボランティアの方々にはお金に換えられない支援を受けた。我々はただ支援を受けるだけで良いのだろうか。個人ボランティアの中には相当な想いを抱いて支援に来ている方も多くいるが、自分の思うように支援がで

きず、不満を抱いて帰っていくボランティアもいる。町のボランティア受入体制を整える必要があるのではないか。

北小の現状も何度か見てきた。来町してくださる多くの方々のために、町内の宿泊施設が民間でもできないかという想いでいる。北小を取り壊す考えもあるが、現実的に北小を使用することができないか、改修にはどれくらい費用がかかるのか下調べしているところである。3月中には見通しが立つと考えているため、その内容を踏まえて最終的な判断をしなければならぬ。町づくりのキーワードとして、交流人口の拡大をポイントとしている。これを積極的に行うことも一つの復興ではないかという考えをもっている。

【答】（碓川町長）

【答】（碓川町長）

今後の職員体制及びその財源は

約 200 名・特別交付税で措置



東梅 康悦 議員

【問】今後の職員体制とそれに伴う人件費の規模。また、その財源の確保を伺う。

【答】（平野総務部長）

平成24年度は「復興元年」となることから、多くの専門職及び事務職が必要であり、国及び県等を通じて、県内外の自治体に対して職員の派遣を依頼し、約200名の職員体制と予測している。人件費の規模は、平成24年度一般会計で10億7千万、そのうち1億7600万円が22名の派遣職員の人件費負担金である。今後更に2億円から3億円の増額が見込まれる。この派遣職員の人件費負担金については、特別交付税

で措置される。

【問】派遣職員の期間はどの程度になるのか。

【答】（平野総務部長）

長期の派遣をお願いしたいが、派遣先の自治体の事情もあり1年、6ヶ月、3ヶ月の派遣となる。
【問】東京電力、福島第1原発の事故による影響が県内においても発生している。町として生活面や産業の影響への対応を伺う。

【答】（門脇民生部長）

国では、一般公衆が浴びる空間放射線量の被ばく限度を年間1ミリシーベルト以下、1時間あたり1マイクロシーベルト以下の基準値で、0.2マイクロシーベルトを

町内における放射線量の測定値

	測定地点	測定値
1	小鍮小学校仮設団地	0.084
2	佐野屋野球場仮設団地	0.082
3	大槌町役場（仮設）	0.065
4	安渡小学校グラウンド	0.080
5	赤浜小学校グラウンド	0.071
6	吉里吉里中学校仮設団地	0.071
7	吉里吉里第5仮設（駅隣）	0.074
8	吉里吉里第2仮設（浪板）	0.102
9	大槌第7仮設（大槌橋下流）	0.088
10	大槌第5仮設（和野橋下流）	0.084
11	金沢小学校グラウンド	0.059

（単位：マイクロシーベルト）

平成24年3月2日（金）くもり

町内においても各地区とも目標値以下であり、今後は定期的に測定を実施し、基準値を上回る箇所が判明した場合は速やかに県と協議し、安全の確保に努めたい。

【答】（熊谷産業振興部長）

産業における影響は現在、畜産業への影響がある。新山高原及び小鍮川流域を含む「大槌町南部地域」で生産された平成23年産牧草について、昨年7月に行われた検査の数値が、4月1日から施行される食品衛生法の基準値を上回ったため、利用自粛の規制を受けるこ

とになった。町としては、大槌町畜産振興公社や花巻農協等の関係機関と連携し、農家の経営に支障のないよう牧草の調達及び代替放牧地の確保に努めたい。

【問】被災した店舗、アパートへの支援について伺う。

【答】（菊池復興局長）

町に直接寄せられた義援金は、2月末現在、3億円を超えている。その配分対象及び金額等を審議していただくため、「大槌町災害義援金配分委員会」を1月末に設置した。第一次配分案の対象として、国や県の義援

金に準じて、死者・行方不明者の御遺族等の世帯のほか、町独自の支援対象として、震災で親を失った子供に対する見舞金のほか、浸水区域の一部損壊世帯、入院や転勤などのやむを得ない事情によって、不在であった住家が全半壊した世帯など、これまで支援対象外であった世帯等も対象となった。個人経営のアパート等についても支援対象となる。事業者等も対象とすべきか議論されたが、住家等の被災者を優先し、事業者は対象とされなかった。第2次配分に係る委員会において検討課題と考えている。

議会を傍聴しませんか

6月定例会は6月8日（金）開会予定です。



阿部俊作議員

中高一貫校はいかがか

小中一貫校を検討している

【問】被災者住宅再建支援事業について

①大槌町の住宅再建補助対象数は、

②事業は24年度からだがすでに住宅再建、住宅購入した被災者も対象になるか。

③補助金等支援窓口はどのようになっているか。

【答】（菊池復興局長）

①新年度当初予算に間に合わなかったため、補正予算として計上予定。現在戸数を検討中。町内に持ち家再建希望は約1200世帯あり、全ての再建意向世帯が本補助金を活用し速やかに住宅再建できるよう取り組みたい。

②県より補助対象者に

含まれることを確認した。

③住宅再建支援、補助金支援等は、窓口は被災者生活再建支援金等を所掌する体制を整え、周知していく。

【問】バス停待合所風除け設置の見直しは、

【答】（菊池復興局長）

通院、通学を考慮し、



大槌病院仮設診療所前バス停留所



①中一ギャップの問題は、

②この問題にどのような対応しているか。

③小中一貫校は負担が大きくなるか。

④小中より中高一貫校のほうが良いと思うか。

【答】（伊藤教育長）

①不登校、いじめ、暴力行為といった形で問題行動が現れる。

②不登校について、学校では家庭訪問、個別の対応について会議を持ち指導にあたり、教育委員会では、教育相談員による適応教室を開設するなど生徒の登校にむけ努めている。

③負担にはならない。

④小中一貫教育の導入

を検討している。今後、内部での検討や県教育委員会とも協議していきたい。

【問】土坂峠のトンネル建設運動について

①今後の運動計画は、

②近隣市町村、盛岡市の中央卸売市場、商工会等と連携した運動は進められないか。

【答】（碓川町長）

①緊急時の道路、今後の復興と発展に必要不可欠と強く感じている。本年2月2日に県知事、県議会議長に面会し土坂トンネル早期着工を要望した。昨年11月14日から15日にかけて県選出国会議員や国土交通省、東北地方整備局にも要望活動を実施

し、11月30日には国土交通副大臣に直接要望している。今後も要望活動や運動を展開していく。

②特に遠野市や関係機関等と連携を図り運動を進めたい。

【問】大槌病院再建について

病院再建のため専属の職員を配置しては、

【答】（門脇民生部長）

県立大槌病院の復旧・復興は重要課題であり、県知事、県議会議長に速やかな再建を要望した。土地利用、公共施設配置計画を検討し建設地を調整し、専属職員配置は必要に応じて検討する。

地域支援員の役割と活動は

集会所の管理、自治会活動の手伝い



芳賀潤議員

【問】防災集団移転事業によらない、個別で高台移転した場合の水道管等の敷設費の補助についての導入の考えは、また浸水地域における住宅再建については。

【答】（菊池復興局長）

他の市町村でも同様の補助事業を創設する動きがあることを承知している。今後住宅再建に向けて、十分に意向を確認しつつ検討したいと考える。

浸水地域の住宅再建については、今回と同程度の過去最大クラスの津波に対して、防潮堤、道路の嵩上げ、宅地の盛土等の基盤整備によって、浸水が想定されない区域

に誘導したいと考えている。

【問】大槌町の基金事業においても、個人事業主を支援する基金事業を実施する意向はあるか。人口流出防止、帰町等（転入）の促進策について。

【答】（熊谷産業振興部長）

「中小企業被災資産復旧事業費補助」等の支援策は、個人事業主も対象となっているが、マンパワー不足が原因で、個人事業主がこれらの支援を利用しづらい現状がある。商工会をはじめとする様々な支援機関が実施している、専門家を活用した事業計画策定支援等の利用を勧めるなどして、

個人を含む小規模事業者が必要な支援を受けられるよう努めている。

「震災等緊急雇用対応事業」、国の第三次補正で拡充された「生涯現役・全員参加・世代継承型雇用創出事業」を活用し、いわゆる起業による雇用創出を図る事業を実施する。

【問】青少年等の健全育成・住民の健康増進の観点からも、ふれあい運動公園野球場の貸出を再開してほしいが。

【答】（佐々木生涯学習課長）

ふれあい運動公園野球場については、大槌町東日本大震災津波復興計画において公営住宅等への転換を予定されているが、教育委員会としては公営住宅になるまでの間は、野球に限定することなく、多目的野外運動施設として引き続き有効活用したいと考えている。

【問】第5期介護保険事業計画と介護保険料について。

【答】（門脇民生部長）

第5期介護保険事業計画は、大槌町東日本大震災津波復興計画の部門別計画として策定することとしており、震災後の人口減少や地域コミュニティの分散、介護サービス事業所の被災による機能低下など、いわゆる負の影響が大きく残る中、介護サービス提供体制の復旧を進めるとともに、高齢者が身近な地域社会の中で安心して暮らせるよう地域包括ケアシステムの新構築を目指すものである。

第5期介護保険事業計画では、介護保険事業財政に大きく影響する制度改正が行われるが、介護保険給付費準備基金の取崩しや、国の財政安定化基金に基づく交付金などの措置により、65歳以上の第1号被保険者の基準保険料の上昇幅を抑制し、月額4890円（前期比740円増）とする

【問】仮設住宅における、地域支援員の役割と活動状況について。

【答】（菊池復興局長）

町内全48仮設住宅における集会所の管理、自治会活動の手伝いや外部からの支援団体との連絡調整が主な役割となっている。3月1日現在でパートを含む101人を雇用し、仮設団地を6地区に分割しマネージャーを常駐させるとともに、集会所等に地域支援員を常駐させたとことであり、仮設住宅内での水道管凍結問題では、入居者に対する凍結防止策の徹底を図っているほか、凍結した際の相談窓口として土日も含め対応している。

今後とも仮設住宅内での様々な課題については、被災者支援室と地域支援員が密接な関係を保ちながら対処したいと考えている。

新年度各会計予算を審議

一般会計当初予算は 127 億 7,000 万円

予算特別委員会は、3月16日から22日までの日程で開催されました。
委員長には野崎重太議員、副委員長には小松則明議員を選出し、本会議で付託された平成24年度一般会計予算など8会計予算について審査しました。
予算特別委員会での審査終了後、本会議を再開して、採決の結果、24年度の一般会計予算など8会計予算は、いずれも原案のとおり可決となりました。
以下、予算特別委員会における質疑の一部を紹介いたします。

◇ 予算議決 ＊

- ◎平成24年度大槌町一般会計予算
(全員賛成・原案可決)
- ◎平成24年度大槌町一般集落排水処理事業特別会計予算
(全員賛成・原案可決)
- ◎平成24年度大槌町国民健康保険特別会計予算
(全員賛成・原案可決)
- ◎平成24年度大槌町簡易水道事業特別会計予算
(全員賛成・原案可決)
- ◎平成24年度大槌町下水道事業特別会計予算
(全員賛成・原案可決)
- ◎平成24年度大槌町後期高齢者医療特別会計予算
(全員賛成・原案可決)
- ◎平成24年度大槌町介護保険特別会計予算
(全員賛成・原案可決)
- ◎平成24年度大槌町水道事業会計予算
(全員賛成・原案可決)

総務費

◎質疑：各地区では、輪番制で行政連絡員をやっているところが多い。ところが、なり手がいないために行政連絡員が自己において手当をしている場合があると聞いている。行政連絡員に自己負担させていいのかわかるか。その実態を把握しているか。
◎答弁：被災前は45地域でお願いしていた。行政連絡員は29名である。そのほかは班でお願いしている。仮設住宅の関係もあり、現在はバラバラとなっている。これからのあり方について検討していく。

◎質疑：各地区では、輪番制で行政連絡員をやっているところが多い。ところが、なり手がいないために行政連絡員が自己において手当をしている場合があると聞いている。行政連絡員に自己負担させていいのかわかるか。その実態を把握しているか。
◎答弁：被災前は45地域でお願いしていた。行政連絡員は29名である。そのほかは班でお願いしている。仮設住宅の関係もあり、現在はバラバラとなっている。これからのあり方について検討していく。

民生費

◎質疑：仮設住宅に入居している方が多くいる中、民生委員のあり方は。
◎答弁：社会福祉協議会と協議している。仮設住宅の様子を見ながら早期に検討していきたい。

労働費

◎質疑：最終処分場の稼働状況は。何年くらい稼働するのか。
◎答弁：12月まで887トン受けている。約10年使用する予定。

◎質疑：被災した障害者家族が迷惑をかけるからといって避難を遠慮した方がいる。要援護者の把握が必要であり、防災計画の中では設ける予定はあるのか。
◎答弁：要援護者の方を弱者という位置づけをして見直しの中で明記していく。

衛生費

◎質疑：保健推進員は現在どのように配置になっているのか。
◎答弁：震災前は58名いた。震災後辞退した方や町外に引っ越した方もいる。地域の状況に合わせて増員していきたい。

雇用調整助成金を受給している事業主に5分の1の助成し、新卒者に対する雇用奨励金を助成している。この3つの制度として助成していきたい。なお、国、県の補助制度を活用している方を除くものである。

農林水産業費

◎質疑：町内に区画整理等が入るが、土地の区分けの取り扱いはどうなるのか。

◎答弁：登記簿上の面積により買い取りする方法と、測量することにより買取する方法の2つがある。単価については他の市町村でもまだ示していない。実測すると時間がかかると思われる。

◎質疑：今回の震災を受けて、県産材を使用する復興住宅を積極的に活用すべき。大槌町にも伐採できるものが多くあり、山林が荒れている。山林の活性化を図るべきと思われる。

◎答弁：国の交付金事業で活用していけるよう検討していく。

商工費

◎質疑：木造住宅建設促進補助金は、継続するよう聞いていたが。

◎答弁：木造住宅の支援については、平成23年度にハウスメーカーや大工の受注が少なく、できるだけ町内の大工さんへの支援を促進しようとしたものである。平成23年度は1件だけ申請があった。今回、この事業に対する補助金を見合わせたものである。要望、相談等が多くなつたならば検討していく。

土木費

◎質疑：土地区画整理事業を早期に進めて、土地開発公社を活用したほうがいいと思うが。

◎答弁：できるだけ早く復興したいというのは私たちも同じ気持ちである。区画整理の中では、目的がはっきりしない場合、

公社で売却できないことも生じる恐れがあるので、公社だけの問題ではなく、全体の問題と認識しており、検討が必要であると考えている。

◎質疑：三陸縦貫自動車道路整備について、代替地の進捗状況は。

◎答弁：代替地は、被災したところもあり、浸水区域外でも仮設団地になつているところがある。今後検討していきたい。確保していきたい。

◎質疑：仮設住宅について、入居は2年となつていくが、2年だけでは無理だと思う。長期間入居可能である旨入居者に対して安心させるような努力はしているのか。

また、土地を貸している方は2年間と認識している。住んでいる方も提供している方もお互いに関係を保っていたいただきたい。
◎答弁：阪神淡路大震災の際は5年であった。入

居者は出て行っても行く場所がない状況である。仮設住宅を管理しているのは県である。国、県でも現在検討しているはずである。2年から延長する場合は広報等で周知したい。

消防費

◎質疑：消防庁舎の建築用地について、安渡小学校裏の国道45号線沿いを建設候補地として、用地買収及び造成等に取り組んでいるが、大槌町の30年後50年後の町の形態を考えて決定してほしい。

◎答弁：消防庁舎は特に緊急を要すると考えている。適切な場所として選定したところである。

教育費

◎質疑：学校の先生方の住居の問題は。
◎答弁：住宅は確保している。

◎質疑：仮設校舎に通っているが、歩道がない。自動車が多くなったので、歩道を作ってもらいたい。
◎答弁：一部の道路で幅し、併せて歩道を設置する予定のところはある。

◎質疑：小中学校の教育に寄せられた支援金、寄付金等は、どのくらいで、どのようなものを使うのか。

◎答弁：義援金は現在650万円いただいている。寄付金もいただいている。いったん財政局に入れて

て随時使用目的にそって使っている。例えば、中総体でのお弁当とか、県大会への出場する交通費等、子供たちのために使っている。また、学校や校長に直接寄せられたものは、報告書をいただいている。

◎質疑：広報に関して、紙面の都合があると思うが、文字が小さいので大きく掲載してほしい。
◎答弁：できるだけ大きく掲載することとする

定例会・臨時会議員出欠表

議席番号	議員氏名	第1回定例会 (3/8～23)		第1～4回 臨時会	
		出席	欠席	出席	欠席
1	三浦 諭	9	0	4	0
2	芳賀 潤	9	0	4	0
3	東梅 守	9	0	4	0
5	阿部俊作	9	0	4	0
6	東梅康悦	9	0	4	0
7	小松則明	9	0	4	0
8	里館裕子	9	0	4	0
9	金崎悟朗	9	0	4	0
10	後藤高明	9	0	4	0
11	岩崎松生	9	0	3	1
12	野崎重太	9	0	4	0
13	阿部義正	9	0	4	0
14	阿部六平	9	0	4	0

釜石大槌地区行政事務組合議会

金崎悟朗議員報告

去る2月23日に定例会が1日の会期で開催され、付議事件は議案7件、いずれも原案のとおり可決された。

平成23年度補正予算第3号については消防職員殉職者賞じゅつ金に係る特別負担金6千万円を増額し、予算総額を34億9660万8千円とするものである。

平成24年度予算は、歳入歳出それぞれ12億9111万2千円で、昨年度と比較し、8870万3千円の6.4%の減となっている。

次に管理者から主な取り組みの報告がありました。し尿処理業務について

岩手沿岸南部広域環境組合

岩崎松生議員報告

去る2月9日に定例会が1日の会期で開催され、付議事件は議案3件、いずれも原案のとおり可決された。

平成23年度補正予算(第2号)については、ごみ処理量等の確定見込み

は、今般の震災により被災した当センターの災害復旧工事の進捗状況は、補修工事などのすべての工事を3月までに完了予定となっていること。

消防業務については、消防庁舎建設に関して、東日本大震災財政援助法による補助制度を活用して建設すべく、釜石市と大槌町に、建設用地の選定をお願いしており、昨年11月に釜石市において「鈴子地区への整備」とし、24年度からの着工に向けて取り組んでいる。大槌町においても、今後用地が選定され、土地取得造成等が完了次第、大槌消防署建設事業に取り組みとの報告がありました。

平成24年度予算については、施設管理運営委託料及び住田町を除く4市町からの持ち込まれる災害ごみの処理委託料等を含む、歳入歳出予算の総額を10億274万6千円とするものである。

管理者から、岩手沿岸南部クリーンセンターの状況について、平成23年4月から供用開始以降、余震により施設が一部被災し、一時稼働停止したものの、4月11日の再稼働以来、大きな故障もなく、12月末までに災害ごみを含め2万7506トンのごみを受け入れ順調に稼働していることや、

通常的生活ごみは、現在前年度の約8割程度で落ち着いているが、今後の見通しは少しずつ回復していくものと考えている。また、災害ごみの処理は、瓦礫処理の動向を見ながら、通常ごみの余力の範囲で、可能な限り処理を進めたいこと。

放射能問題では、クリーンセンターから出る飛灰の放射能測定結果は、国が示す8千ベクレルという暫定基準値を大きく下回っている結果となっていること。

長年の懸案事項となっていた大槌町のごみ運搬経費増加分について組合幹事会や連絡会議での協議・調整を経て、24年度以降の負担割合を変更する条例を改正することなどの報告がありました。

阿部義正議員報告
去る2月16日に定例会が1日の会期で開催され、付議事件は議案8件、任期満了に伴う議会

に伴い、歳入歳出からそれぞれ1億2420万9千円を減額して、補正後の予算総額を8億7517万7千円とするものである。

平成24年度予算については、施設管理運営委託料及び住田町を除く4市町からの持ち込まれる災害ごみの処理委託料等を含む、歳入歳出予算の総額を10億274万6千円とするものである。

管理者から、岩手沿岸南部クリーンセンターの状況について、平成23年4月から供用開始以降、余震により施設が一部被災し、一時稼働停止したものの、4月11日の再稼働以来、大きな故障もなく、12月末までに災害ごみを含め2万7506トンのごみを受け入れ順調に稼働していることや、

通常的生活ごみは、現在前年度の約8割程度で落ち着いているが、今後の見通しは少しずつ回復していくものと考えている。また、災害ごみの処理は、瓦礫処理の動向を見ながら、通常ごみの余力の範囲で、可能な限り処理を進めたいこと。

放射能問題では、クリーンセンターから出る飛灰の放射能測定結果は、国が示す8千ベクレルという暫定基準値を大きく下回っている結果となっていること。

長年の懸案事項となっていた大槌町のごみ運搬経費増加分について組合幹事会や連絡会議での協議・調整を経て、24年度以降の負担割合を変更する条例を改正することなどの報告がありました。

阿部義正議員報告
去る2月16日に定例会が1日の会期で開催され、付議事件は議案8件、任期満了に伴う議会

岩手県後期高齢者医療広域連合

阿部義正議員報告

去る2月16日に定例会が1日の会期で開催され、付議事件は議案8件、任期満了に伴う議会

副議長選挙が行われ、指名推薦により、一戸町議会議員、田村繁幸氏が選出された。

平成23年度一般会計補正予算(第2号)は、9億576万6千円を追加し、補正後の総額を歳入歳出それぞれ11億3783万円とするものである。

平成23年度特別会計補正予算(第3号)は、10億978万7千円を増額し、補正後の総額を歳入歳出それぞれ1470億8948万1千円とするものである。

平成24年度一般会計予算は、歳入歳出それぞれ2億304万1千円とするものである。

平成24年度特別会計予算は、歳入歳出それぞれ1404億4401万7千円とするものである。

監査委員の選任に關し同意を求めることについては、指名推薦により、遠野市議会副議長、浅沼幸雄氏が選出されました。

副議長選挙が行われ、指名推薦により、一戸町議会議員、田村繁幸氏が選出された。

平成23年度一般会計補正予算(第2号)は、9億576万6千円を追加し、補正後の総額を歳入歳出それぞれ11億3783万円とするものである。

平成23年度特別会計補正予算(第3号)は、10億978万7千円を増額し、補正後の総額を歳入歳出それぞれ1470億8948万1千円とするものである。

平成24年度一般会計予算は、歳入歳出それぞれ2億304万1千円とするものである。

監査委員の選任に關し同意を求めることについては、指名推薦により、遠野市議会副議長、浅沼幸雄氏が選出されました。

副議長選挙が行われ、指名推薦により、一戸町議会議員、田村繁幸氏が選出された。

平成23年度一般会計補正予算(第2号)は、9億576万6千円を追加し、補正後の総額を歳入歳出それぞれ11億3783万円とするものである。

平成23年度特別会計補正予算(第3号)は、10億978万7千円を増額し、補正後の総額を歳入歳出それぞれ1470億8948万1千円とするものである。

平成24年度一般会計予算は、歳入歳出それぞれ2億304万1千円とするものである。

監査委員の選任に關し同意を求めることについては、指名推薦により、遠野市議会副議長、浅沼幸雄氏が選出されました。

副議長選挙が行われ、指名推薦により、一戸町議会議員、田村繁幸氏が選出された。

平成23年度一般会計補正予算(第2号)は、9億576万6千円を追加し、補正後の総額を歳入歳出それぞれ11億3783万円とするものである。

平成23年度特別会計補正予算(第3号)は、10億978万7千円を増額し、補正後の総額を歳入歳出それぞれ1470億8948万1千円とするものである。

編集後記

▼「復興元年」町の復興に猶予はない。それ故、我々議員は全力で取り組んでいかなければならない。▼町の復興と町民生活(心)の復興は、できるものなら同時進行が望ましい。▼しかし、復興を進めるには優先順位があり、現状では莫大な準備も必要だ。▼あくまでスピード感ある復興を願うものの、場合によっては十分な時間が必要なこととも理解したい。

▼いずれにせよ、町民それぞれが前へ前へと一歩ずつ、今日より明日へと、つち音を響かせ続けていくことが大切だ。▼私としては、町の未来(あす)を責任ある言動で見据えていきたい。(裕子)

議会報編集特別委員会
委員長 東海康悦
副委員長 金崎悟朗
委員 里館裕子
委員 阿部俊作
委員 三浦 諭